

高田教区宗祖親鸞聖人750回御遠忌

# 御遠忌通信

ごえんきつうしん 第11号

発行日 2015年9月15日  
 責任者 森田 成美  
 編集 御遠忌広報実行委員会  
 連絡先 真宗大谷派高田教務所  
 上越市寺町2-24-4  
 TEL 025-524-3913  
 FAX 025-524-2645

御遠忌  
テーマ

## 私はどこで生きているのか ～たずねよう真宗の教えに～

### 多くの念仏者の誕生を願って

参拝部会長 井上 博

この度、諸事情から5月14日の第2回目の参拝部会の折、思いがけなくも前部会長の金子正美さんからバトンを受け、参拝部会の部会長をお受けすることになりました。金子さんには御遠忌推進委員会発足当初から4年余りご活躍をいただきました。ありがとうございます。今後は、そのご活躍を見習いながら尽力していければと思っております。よろしくお願いいたします。

さて、2011年5月に、このプロジェクト（教区御遠忌法要）が立ち上げられて、早や4年が経過いたしました。その間、御遠忌円成に向けて部会ごとに準備が着々と進められております。

- 当部会の業務内容としましては、
- 儀式法要及び行事への参加奨励に関する事項
- 団体参拝に関する事項
- 儀式法要及び行事への参拝者及び参加者の受け入れに関する事項

これらが主な内容となります。現在部会員は26名で組織されていますが、これらの業務を確実に実行していくために、今後は、団参計画策定小委員会を設けて協議していくことといたしました。すでに先日（8月21日）、12名の委員をもって組織され、第1回目の小委員会がもたれました。

参拝者をどのように受け入れ、どのように参詣をいただくのか、今後煮詰めなければならぬことが、多くあることを実感いたしました。

現在、大門の御修復が進められております。「御遠忌通信」第5号の巻頭言で、森田教務所長は「寺の山門はこの中に真実の教えがある、教えの門をくぐれと外に向けて呼びかけている象徴としてあるのではないのでしょうか。（中略）その門をくぐって、多くの念仏者が誕生してまいりました。」と表現されておられます。今回の法要におきましても、ぜひ多くの方々にも門をくぐっていただき、多くの念仏者の誕生を期待したいと思います。



越後御流罪八百年法要団体参拝の様子（2007年4月／高田別院）

# 高田別院大門御修復日記

～御修復のあゆみ～

4月



## 起工式

教区役職者、別院役職者並びに工事関係者が列席し、お勤めがなされました。

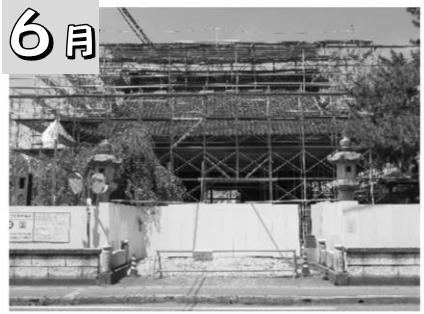
5月



## 工事開始

連休明けから素屋根を設置するための資材が順次搬入されました。

6月



## 素屋根足場の設置

巨大なクレーンによって、作業する足場が作られました。

7月



## 素屋根完成

高さ15m、幅23m、奥行20m



## 瓦おろし

作業員の手によって1枚ずつ丁寧に瓦が屋根から降ろされていきました。



## 瓦撤去後

瓦が全て撤去された様子です。



## 野地板解体

野地板（トントン葺き）を撤去しています。



## 野垂木解体

野垂木を撤去し、小屋組の姿が見えてきました。

8月



## 軒先材解体

作業員のそばに見えるのが巨大な桔木（はねぎ）です。

大門の御修復工事は2015年4月から2017年5月末までの予定です。8月10日には、大門御修復見学会を開催し、多くの方にご覧いただきました。

今後、12月までの第1期工事期間中に小屋組や支柱の撤去を行っていく予定です。また、進捗状況については、今後も御遠忌通信等でお知らせしてまいります。

# 高田別院大門御修復見学会レポート

去る8月10日、別院大門、塀修復現場の公開が行われた。教区内寺院とそのご門徒さんに限定したものであったが、朝から夕方までの5回の公開に約40人の参加者があった。

大門に素屋根を掛け、周囲を足場で固定した現場に細い階段を伝って上がってみると、瓦を降ろした屋根の構造体が思いの外複雑に組み込んであるのが先ず目に付いた。

当日、案内と説明を担当してくれた設計の

施工業者によると、軒を支える桔木（はねぎ）がそれ自体のバランスで、水平に差し出した梁を下がるのを防いでいて、また当時は柿葺き（こけらぶき）（薄く剥いだ木を現在の銅やスレートのように貼り付けるもの。余談ではあるが、今まで柿へかき）と書いて「こけら」と読むとばかり思っていたが、全く別の漢字であることを今回知った。で、竹釘で固定されていたため、現在使われている瓦に比べ重量が軽く、軒先に使った鉄のプレートでさら



に吊り上げ美しい曲線を作り出していたとも聞いた。

詳細な時期は定かではないが、火災防止の行政指導で瓦に乗せ換えた時、桔木の支点がズレ荷重を分散する事が出来なくなり、桔木の自重が軒先を下げる事になり、ひいては全体のバランスを崩す事になったとも聞いた。

そのような事情で、現在の別院大門は12本の鉄の支柱で軒を支えているが、竣工時には前後2本ずつの計4本の支柱まで減らして往時の面影を再現できるとの事だった。今年の年末を目処に一旦門と塀は解体され、雪解けを待って再度組み立てられる。なお、腐食及び破損した部分は丁寧に取り除き、継木をして元の部材を大切に再利用する。江戸期の優雅な姿を取り戻した大門、塀が見られるのは2017年5月以降の予定である。

当時の建築工事の大変さがしのばれた。

雪害の影響の大きさに驚いた。

## 見学者の声

今まで見たことのない造りだった。

門を支えていた12本の支柱の役割は大きかったのだろう。上からの重みだけでなく、下からの風の吹き上げにも耐えていたはず。

門の東西で30cmも傾いていたという事に驚いた。

部会・委員会等進捗状況

【音楽法要会議】

第1回 期日 2015年4月20日  
第2回 期日 2015年6月16日  
音楽法要の次第について協議した。

【行事広報部会】

第13回 期日 2015年4月30日  
進捗状況について報告。教化部会を新たに設置することを確認した。

【財務部会】

第6回 期日 2015年5月14日  
総計画予算の見直しについて協議し、特別懇志を企業等においていくことを確認した。

【参拝部会】

第2回 期日 2015年5月14日  
第3回 期日 2015年6月11日  
団体参拝の計画については団参計画策定小委員会でもって協議することを確認した。

【教化体制改革実行委員会】

第9回 期日 2015年6月25日  
教化体制の見直しについて協議した。

【推進委員会常任委員会】

第10回 期日 2015年6月26日  
各部会の進捗状況について報告した。

【推進委員会】

第9回 期日 2015年7月21日  
各部会の進捗状況について報告。御遠忌特別会計予算について、承認した。

【広報実行委員会】

第19回 期日 2015年7月13日  
第20回 期日 2015年8月28日  
御遠忌通信第11号の内容について協議した。

【教化部会】

第1回 期日 2015年7月21日  
第2回 期日 2015年8月27日  
御遠忌お待ち受け事業について協議した。

【団参計画策定小委員会】

第1回 期日 2015年8月21日  
団体参拝計画の方向性について協議した。

\*\*\* 完納御礼 \*\*\*

高田教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌懇志金を御進納いただき誠にありがとうございます。ここに、御完納いただきました御寺院名を御披露し、御礼にかえさせていただきます。

第1組

光徳寺 本立寺

第2組

善正寺

第6組

玉梅寺 本誓寺 長徳寺

第7組

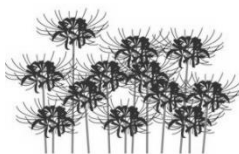
専了寺

第8組

蓮休寺 慈圓寺

第12組

横超寺



第13組

松橋寺 善照寺

(2015年4月1日～8月31日)

以上12カ寺

なお、右記を含め2015年8月31日現在の御完納寺院は148カ寺でございます。またそれ以外にも98カ寺から懇志金を御進納いただいております。収納総額は1億5457万8700円(御依頼額の60.7%)です。

ひとこと

高田別院大門の修復工事がようやく着工いたしました。去る8月10日に行われた工事見学会では、長年の風雪に耐えてきた大門を内側から見る事ができました。折れ曲がった大木が幾重にも積み重なって、門の軒先の重量を支える枯木へはねぎは見応えがありました。また過去の修復の痕跡なども所々に見られ、歴史の長さを物語っていました。改めてその建築の素晴らしさに感動を覚えました。

今後、台風や豪雪といったものに対応しながら工事が行われると思いますが、平穩無事に進んでいくことを願うばかりです。  
(上宮 崇)